

教育課題に関するグループ研究発表会を行いました（3年）

5月12日（金）教育創造コースの3年生が、コースの活動の集大成となる「教育課題に関するグループ研究発表会」を行いました。生徒達は昨年7月から3～4名のグループを結成し、各班が教育に関するテーマを設定して、探究活動を行ってきました。探究の過程では、**香川大学の先生方をはじめ多くの方々にアドバイスやご指導・ご協力をいただきました。**

班	研究テーマ一覧（3年生）
1	虐待に対して、保育園でできる対策は何か？ ～保育士からの子どもへの虐待をなくすために～
2	外国にルーツをもつ児童への学習支援 ～誰も取り残さないために周りの人ができること～
3	生徒たちが授業に集中できる教室はどのようなものか？ ～よい教室を作るために～
4	不登校生徒が将来社会の一員として活躍するには？
5	数学の授業の沈黙をなくすためには ～数学を数楽（すうがく）に～
6	ヤングケアラーに対する意識改革をするには？ ～現在の体制の考察と見直し～
7	生徒が積極的・能動的に学ぶ授業 ～アクティブ・ラーニングを活用して～
8	好奇心を高める授業とはどういうものだろうか？ ～宇宙一行きたくなる笑楽校（しょうがっこう）～
9	幼児の運動能力向上の秘訣 ～アスリートへの道～
10	子ども食堂の在り方を多様化させることはできるのか？



各班6分の発表をし、香川大学教育学部の小方朋子先生と川東先生から質問と助言をいただき、県教育委員会の栗田先生からは、講評をいただきました。



今回は「対話」と「質疑応答力」をキーワードに発表会を行いました。

発表者は「対話的」な発表を心がけ、聴き手であるコース1・2年生も、適宜、質問や感想を述べることができました。



ご指導いただいた香川大学教育学部の先生方、アンケートやインタビュー等にご協力いただいた方々、**本当にありがとうございました。**

これらから新たに、2年生のグループ研究が始まります。「**主体的、協働的、対話的で、深い学び**」となるよう意識して活動していきます。今後ともよろしく願いいたします。